

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**



## 実用新案公報

庁内整理番号 6814-38

⑬公告 昭和50年(1975)6月9日

(全2頁)

1

⑭中栓とキャップとの間に収納室を有する壺

⑮実 願 昭44-26089

⑯出 願 昭44(1969)3月24日

⑰考 案 者 野沢孝光

東京都杉並区上荻2の17の10

⑱出 願 人 株式会社吉野工業所

東京都江東区大島3の2の6

⑲代 理 人 弁理士 渡辺軍治

### 図面の簡単な説明

第1図はキャップと中栓とをそれぞれ縦断して示す斜視図、第2図は中栓を嵌合したキャップを壺口へ嵌合する前の状態における縦断面図、第3図は中栓つきキャップを壺口へ嵌合した状態での縦断面図、第4図はキャップのみ取外した状態での縦断面図である。

### 考案の詳細な説明

本案はキャップと中栓との間に収納室を設けた壺に係るもので、壺内とその収納室とにそれぞれ別に収納物を納めた状態でメーカーから消費者まで渡され、使用に際して消費者がキャップを開ければ同時に収納室が開孔され、その収納室内収納物が壺内収納物と混合されるよう設けたものである。

以下図面について説明すると、

1は口部外面へ螺条を周設した壺、2はその壺口部へ螺合するようにした周壁3を有するキャップで、その頂壁4の裏面からは、筒状周壁5と栓部6とがそれぞれ垂設してある。栓部6は筒状周壁5の中心部から垂設し、かつその長さは筒状周壁5の長さよりも長く設けるとよい。栓部6と筒状周壁5の内周面との間には収納空間7を形成する。本実施例では栓部6を中空としたが、これは材料節約のためで、後述のように中栓に対する閉塞栓としての機能を達成できれば差支えない。

8は中栓で、上面を開放する周壁9の下面には漏出孔10を有する底板11が設けてある。周壁

2

9はその外周面を壺口内面へ緊密に嵌合可能としてあると共にその内面には前記キャップ2の筒状周壁5の外側面を嵌合可能としてある。壺口内面と周壁9外周面との係合は筒状周壁5の外周面と5周壁9内周面との係合より強く設けるもので、そのためには壺口内面と周壁9外周面とのそれぞれに係合突条12a, 12bを設けるとよい。底板11は漏出孔10を中心として漏斗状に設けて該部への別納収納物13が漏出孔10から壺内へ滑り落ちるよう設けるとよい。漏出孔10は、中栓8をキャップの筒状周壁5へ嵌合したとき、栓部6の先端部が漏出孔10へ嵌合閉塞されるよう設ける。尚周壁9の上端縁には外向きフランジ9aを設けて中栓8が壺内に落ち込まぬようするとよい。

使用にあたっては、キャップの収納空間7へ別納収納物13を収納し、その栓部6の先端部を漏出孔10へ、又筒状周壁5外面へ中栓の周壁9をそれぞれ嵌合することにより収納空間7を中栓で閉塞し、このようにした中栓つきキャップを納入物収納の壺口部へ螺合する。この状態でメーカーから消費者まで運ばれ、消費者がキャップ2を取除けば該キャップに付設した栓部6の拔出しにより漏出孔10は開孔されて別納収納物13は壺内収納物と混合する。

本案は上記のように構成するものであるから、1個の壺内に2種の収納物を別々に、しかもその使用に際しては何等の手数も要せず混合できるから極めて便利であり、又そのための構成も極めて簡易であるから低廉なコストで生産することが可能である。

### ⑳実用新案登録請求の範囲

周壁3の上面へ設けた頂壁4の裏面から、栓部6と該栓部の外周に収納空間7を形成した筒状周壁5とを垂設したキャップ2と、前記筒状周壁5外面へ嵌合可能とした周壁9の下面に、栓部6の先端部を嵌合閉塞可能な漏出孔10を有する底板11を設けた中栓8と、該中栓の周壁9の外周面を

3

4

緊密に嵌合可能な口部内壁面を有する壺とからなり、筒状周壁5外面へ周壁9を嵌合して栓部6先端部で漏出孔10を閉塞した中栓つきキャップを

壺口へ嵌合し、かつキャップ2を除いたとき、中栓8が壺口に残存可能としてなる中栓とキャップとの間に収納室を有する壺。

